

# 豊剣会だより

(表題字・中9 榎原 武雄氏)

発行；豊剣会事務局  
〒560  
豊中市上野西2-5-12  
大阪府立豊中高等学校  
TEL06-854-1207

## 会長挨拶

豊剣会会長(中学14期)  
西村 淳一

あけましておめでとうございます。

皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平成9年も大過なく過ぎ、新年を迎えました。今年  
は寅年。きっと猛々しく進む、良い年となることを念  
じております。それにともない、豊剣会も若い先輩達  
の台頭を願ってやみません。

平成7年から始めました「豊剣杯争奪大会」も、昨  
年3月に第3回を迎え、和やかな中にも真剣な試合が  
繰り広げられ、無事終了することができました。

若い元気いっぱいOB・OGの潑刺とした顔が賑  
々しく一堂に集まるのは、見ていても気持ちの良いも  
のであります。試合に出場してくれる大学生はもとよ  
り、防具をつけなくても声援を送ってくれている女子  
先輩の姿を見ていると、こちらまで若返った想いであ  
ります。

夢にまで見た「豊剣会若返りの姿」を目の当たり  
にして、思わず頬が綻びました。今後はこの若々しい顔  
ぶれを中心に、益々豊剣会が発展して行くことでは  
う。

私達は常日頃から「剣道部同窓会の活性化」をひた  
すら念願しておりますが、豊剣会は「在校中に剣道部  
に席を置いた」という縁だけのメンバーが支えて行く  
ものだけに、一部の決まった顔ぶれになりがちです。  
今後は、より多くの先輩に豊剣会への関心を持って  
いただくことが、大きな課題であろうと思っております。

どうか在校中の練習のことを時々思い出して下さい。  
母校剣道部の育成援助は、我々OB・OGの務めだろ  
うと思っております。今後とも皆様のご支援をよろし  
くお願い申し上げます。

つきましては、豊剣会の苦しい財政を乗り切り、せ  
っかくの伝統を末永く持続して行くため、皆様のあた  
たかい金一封をご送付下さるようお願いいたします。

豊剣会の維持経費は、同封の振込用紙による会費と  
寄付により賄っておりますが、従来の大口寄付を支え  
てきていただいた大先輩のご高齢化と共に、年々財政  
が逼迫してきております。

全国でも類の少ない、光輝ある伝統を誇る我が豊剣  
会の、輝かしい灯を永遠に燃やし続けることを願ひし  
て、再度皆様方に絶大なるご支援をお願い申し上げる

次第です。

なお、今回から「豊剣会だより」は様式を変え、新  
しく若い顔ぶれで発行してくれることとなりました。

## 奥田幾治郎先生を偲ぶ

豊中高校の大先輩(中学1回生)で母校豊中高校の  
恩師(昭和22年10月就任、剣道部顧問)であった奥田  
先生が平成9年6月25日ご逝去になった。

先生は昭和7年、滋賀県の虎姫中学に赴任され母校  
豊中高校に転勤された後、定年まで母校に在職された。  
いわゆる生え抜きの豊高教員で、同窓会の豊陵会のお  
世話も身をもって実践に移された、尊い存在であった。

あの強健な意思をお持ちであった先生も、歳には勝  
てず天寿を全うされ、ついに他界されたことは、全く  
惜しいことで痛恨の極みである。

『剣道六十年史』の中に『豊高剣道部時代を迎えて、  
顧問として』と題して当時の事を記載しておられるが、  
その文中に「剣道の技術にかけては最低の僕が顧問を  
引き受けたのは…」と、学校教師としての責任を全う  
される奥田先生らしい面影が偲ばれる。「井坂先生一  
人では、対抗試合に付き添って行けないので、その時  
だけ僕がお助けするというだけの顧問」とも書いてお  
られる。奥田先生の実直なご性格から推し量るのに、  
案外当時の先生のご本心から出た言葉かも知れない。

あまり剣道の事は知らないが「何かお役に立てば…」  
の、奥ゆかしいお心が伝統のある母校剣道部の発展に  
つながるものである事を思い起こして、今更ながら惜  
しい「恩師・先輩」を失った寂しさを感じるのは、私  
一人ではなからう。

奥田先生が俳句づくりにご熱心だった事は周知の事  
であるが、前記の『剣道六十年史』の中に「ころころ  
と鏝ころがれり初試合」とあり、「剣道と俳句、剣道  
と禅、剣道と受験勉強、これらのテーマに就いて論じ  
たい事も多々あるが」と文を置かれておられた。ご生  
前に「俳句」については時々拝聴したが、禅・受験勉  
強と剣道とのお話はついに聞きもらしてしまった。残  
念である。

奥田先生のご冥福を心からお祈り申し上げます。

豊剣会会長・中学14回 西村 淳一

## 盛会の豊剣杯争奪大会

第3回豊剣杯争奪大会は、平成9年3月30日（日）、母校の柔剣道場・会議室を使って盛大に実施された。

まず豊剣杯争奪大会が午後1時から柔剣道場で行われ、開会式の後、2コートを使い全チームによるリーグ戦が行われた。その結果、優勝は49期生の「豊田・尾久土・福岡」組、2位が50期生の「加藤・前田・亦野」組、3位が49期生の「小山・門脇・矢野」組となりました。

その後、場所を会議室に移して懇親会が行われた。

夏期合宿は、平成9年7月22日から25日まで、3泊4日の日程で、本年度は京都府の宮津で実施しました。

参加は全部員と顧問2名に加え、豊剣会から会長の西村淳一氏・中21期の豊田俊一氏が全日程参加していただき、豊田氏を中心に練習から練習試合まで終始ご指導いただきました。また、高16期の大芝氏がご多忙にも関わらず、22日横浜から遠路お越し下さり、23日終日ご指導下さいました。いつものことながら、先輩諸氏のご協力に頭の下がる想いです。また、豊剣会から今年も合宿への援助金を頂戴しました。有り難うございました。

顧問・高校20期 高田 裕文

## 豊高剣道部の活動報告

常日頃から「豊剣会」には、財政面はもとより部員の指導にいたるまで、様々なご支援をいただき、まことに有り難うございます。この場をお借りして、お礼申し上げます。

現在活動中の剣道部員は、2年生男子4名・女子8名、1年生男子6名・女子6名の、計24名です。

本年度は、部長が森山雄太郎・副部長が中紀貴・女子部長が酒井千菜・マネージャーが信太友規子で、いずれも2年生です。

練習は本校柔剣道場で、月～金は午後3時50分から5時15分まで、土曜日は午後1時30分から約2時間（なぎなた部が前半の場合は3時から）行います。

本校の練習は、基本的に生徒が自主的にメニューを組むこととなっています。先輩から伝えられるノウハウをベースとしながらも、各年度ごとに独自の工夫をも加えながら日々の練習に励んでいます。

時にはOBが防具を持って練習に参加してくれるので、部員にとっても良い刺激となるとともに、上下のつながりを保つきっかけともなっています。

年間の行事等は以下の通りです。

- 4月下旬 「豊中市青少年剣道大会」に参加
- 6月上旬 「インターハイ予選ブロック大会」に参加
- 7月下旬 夏期合宿
- 8月下旬 「高校総体ブロック大会」に参加
- 11月3日 「高等学校新人大会」に参加
- 本体会は女子が団体で中央大会に進出した。
- 1月中旬 「北摂学校剣道大会」に参加
- 1～3月 各大学の招待試合に参加
- 3月下旬 「豊剣杯争奪大会」に参加

### <夏期合宿について>

## 住所変更等の連絡・短信

\*中4期 岩崎繁男

短 信；我が余命短し

されど豊剣会は永遠であれかし

\*高29期 西岡（旧姓加藤）尋子

新住所；〒666-01 川西市清和台西3-4-3

TEL 0727(98)0084

\*高29期 広畑 誠

新住所；〒225 横浜市青葉区あざみ野4-38-17

TEL 045(903)6929

\*高31期 吉本（旧姓倉佐）美穂；6月に転居

新住所；〒733 広島市西区古江西町18-24

TEL 082(271)6240

\*高37期 桜井（旧姓白岩）愛子

新住所；〒562 箕面市新稲6-14-5

TEL 0727(25)2220

\*高45期 林 正憲

新住所；〒565 吹田市津雲台2-2-C41-310

TEL 06(872)8920

## 会計からのお願い

会長の挨拶にもありました通り、豊剣会の会計はここ数年逼迫の一途をたどっております。豊剣会の今後の運営には、毎年一定の経費を必要としております。

つきましては、皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご協力いただける場合は、同封の振り込み用紙によって、会費・協賛金を振り込んで下さい。

会計・高校18期 松村 栄太郎